

# 源氏・竹取・万葉・伊勢・大和物語の講義

## 光君の物語から歌物語の女性まで

光源氏はプレイボーイではないの？ かぐや姫の結婚拒否の理由は？ 元号が『万葉集』から採られた意義は？ 同じ歌物語でも女性の気持の描かれ方に違いはあるの？ 4回にわたり、あなたの素朴な疑問に答える講義をいたします。対象は高校生から社会人。あなたも、これを機会に「古典」に親しんでみませんか。

第1回 2024年1月20日(土) 13:00 ~ 15:00

### 「光源氏」とは何か

— プレイボーイとは異なる古代物語の主人公 —

第2回 2024年2月12日(月・祝) 13:00 ~ 15:00

### 『竹取物語』かぐや姫の思想

— 彼女はなぜ結婚を拒否するのか —

第3回 未定 (追ってお知らせ)

### 現元号「令和」の思想

— 『万葉集』が典拠であることの意義 —

第4回 未定 (追ってお知らせ)

### 女性の気持が描けてるのはどっち

— 『伊勢物語』と『大和物語』の叙述の違い —

※ 聴講無料 ただし、各回資料代 100 円を徴収します。各回申し込み不要ですが、聴講は先着 70 名限定です。

### 会場

えんばく

えんばく会議室 (401A+401B)

〒399-0736

塩尻市大門一番町12番2号  
塩尻市市民交流センター

### 講師紹介



東原 伸明 (ひがしらのぶあき)

高知県立大学名誉教授 (塩尻市出身)

《著書》

『土左日記虚構論—初期散文文学の生成と国風文化』  
(武蔵野書院 2015年)

『古代散文引用文学史論』(勉誠出版 2009年)

『源氏物語の語り・言説・テキスト』(おうふう 2004年)

『物語文学史の論理—語り・言説・引用—』(新典社 2000年)  
《共編著》

『新編 土左日記 増補版』(武蔵野書院 2020年)

『大和物語の達成—「歌物語」の脱構築と散文叙述の再評価』  
(武蔵野書院 2020年)

『次世代に伝えたい新しい古典  
—「令和」の言語文化の享受と継承に向けて』  
(武蔵野書院 2020年)

『日本文学研究資料新集 源氏物語・語りと表現』  
(有精堂出版 1991年)



井上次夫 / 高木史人 / 東原伸明 / 山下太郎 編

### 『次世代に伝えたい新しい古典』

—「令和」の言語文化の享受と継承に向けて—

A5判並製カバー装・272頁 税込定価:2,200円

第31回高知出版学術賞 受賞

上代文学『古事記』から近代文学『土』までの日本文学、そして国語教育、日本文化に「令和」の視点からいま、新しい光を当てる。



■主催 信州アルプス大学校  
■問い合わせ先 東原個人迄

■協賛 武蔵野書院

\* できるだけメールでお願いします n\_figaro\_0917@yahoo.co.jp ☎ 52-3068 (17:00まで)